

2021 お茶の水女子 1

(1) 反発係数の式より,

$$1 = -\frac{v_1 - v_2}{v - 0} \quad \therefore \underline{v_1 - v_2 = -v} \quad \dots \quad (*)$$

また, 運動量保存則より

$$m_1 v = m_1 v_1 + m_2 v_2 \quad \dots \quad (2*)$$

$$(*), (2*) \text{ より, } v_1 = \frac{m_1 - m_2}{m_1 + m_2} v, \quad v_2 = \frac{2m_1}{m_1 + m_2} v$$

(2) (1) より

$$\begin{aligned} \Delta E &= \frac{1}{2} m_1 v^2 - \frac{1}{2} m_1 v_1^2 \\ &= \frac{1}{2} m_1 \left\{ v^2 - \left(\frac{m_1 - m_2}{m_1 + m_2} v \right)^2 \right\} \\ &= \frac{2m_1^2 m_2}{(m_1 + m_2)^2} v^2 \end{aligned}$$

(3) (2) で得た式の分子分母を $(m_2)^2$ 割って

$$\Delta E = \frac{2 \cdot \frac{m_1^2}{m_2} v^2}{\left(\frac{m_1}{m_2} + 1 \right)^2}$$

ここで, $m_2 \rightarrow \infty$ のとき, $\Delta E \rightarrow 0$ となる.

(4) 三角比を考えて, $\underline{\sin \alpha = \frac{b}{2r}}$

(5) 衝突後の円盤 A の速さを V_1 , 円盤 B の速さを V_2 とする. x 成分, y 成分の運動量保存則より

$$m_1 v = m_1 V_1 \cos \theta + m_2 V_2 \cos \alpha \quad \dots \quad (3*)$$

$$0 = m_1 V_1 \sin \theta - m_2 V_2 \sin \alpha \quad \dots \quad (4*)$$

$$(4*) \text{ より, } V_2 = \frac{m_1 \sin \theta}{m_2 \sin \alpha} V_1 \quad \dots \quad (5*)$$

(5*) を (3*) に代入して

$$\begin{aligned} m_1 v &= m_1 V_1 \cos \theta + m_2 \cdot \frac{m_1 \sin \theta}{m_2 \sin \alpha} V_1 \cos \alpha \\ v \sin \alpha &= V_1 \sin \alpha \cos \theta + V_1 \sin \theta \cos \alpha \\ V_1 \sin(\theta + \alpha) &= v \sin \alpha \\ V_1 &= \frac{\sin \alpha}{\sin(\theta + \alpha)} v \quad \dots \quad (6*) \end{aligned}$$

したがって,

$$E_1 = \frac{1}{2} m_1 V_1^2 = \frac{m_1 \sin^2 \alpha}{2 \sin^2(\theta + \alpha)} v^{2*1}$$

(6) (5) で得た式において、 θ のみを変数である。 E_1 が最小になるのは、 $\sin(\theta + \alpha)$ が最大になるときである。つまり、 $\theta + \alpha = \frac{\pi}{2}$ のとき。 ((7) の答え)。

一方、反発係数の式より

$$1 = -\frac{V_1 \cos(\theta + \alpha) - V_2}{v \cos \alpha - 0}$$

$$\theta + \alpha = \frac{\pi}{2} \text{ より}$$

$$v \cos \alpha = V_2 \quad \dots \quad (7^*)$$

また、(5*)、(6*) と $\theta + \alpha = \frac{\pi}{2}$ より、 $V_2 = \frac{m_1 \sin\left(\frac{\pi}{2} - \alpha\right)}{m_2} v = \frac{m_1}{m_2} v \cos \alpha$ を (7*) に代入して、 $m_2 = \underline{\underline{m_1}}$ を得る。

$$(7) \theta = \underline{\underline{\frac{\pi}{2} - \alpha}}$$

*1 以後の設問を見ると、問題の意図としては、 θ を使わないで表現が適切なのかもしれないが、以後の計算が楽なのと文字の指定がないので、 θ を用いた。